

認知症を有する人のための 緩和ケアと意思決定支援 —エンドオブライフ・ケアのあり方

参加無料
要予約

第一部

より良い緩和ケアのために

重度認知症の方の
苦痛評価プロトコルについて

平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター

認知症の人の尊厳とスピリチュアルケア

平川仁尚 あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部

第二部

意思決定支援の現状と課題

—SDM と ACP の進め方

実態調査報告

小松亜弥音 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部

在宅医療・介護の場にて

石山麗子 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

高齢者介護施設にて

島田千穂 佐久大学 人間福祉学部

急性期病院にて

高梨早苗 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部

座長

三浦久幸 国立長寿医療研究センター
在宅医療・地域医療連携推進部

会田薫子 東京大学大学院人文社会系研究科
上廣死生学・応用倫理講座

コメント

尾之内直美 認知症の人と家族の会 理事・愛知県支部代表

水島俊彦 日本司法支援センター 常勤弁護士

開催日時

2024年 3月 17日(日)

午後1時～5時

開催形態：Zoom ウェビナー

参加方法

ご参加のお申し込みは2024年1月中旬より「上廣死生学・応用倫理講座」のサイトにて受付いたします。
(参加無料・事前登録制 定員1000名)

<https://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/>

予約開始日など詳しい情報は「死生学・応用倫理センター」メールマガジンでご案内いたします。メルマガへのご登録は、「上廣死生学・応用倫理講座」のサイトの画面右上の「メールマガジン登録」からお願いします。



▲上廣講座 HPは
こちら

令和5年度 厚生労働科学研究費補助金 認知症政策研究事業 課題名：「療養場所の違いに応じた認知症者のエンドオブライフ・ケア充実に向けての調査研究— COVID-19 流行の影響も踏まえて—」(課題番号 21GB1001)

共同主催：一般社団法人 日本老年医学会

東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座

後援：日本在宅医療連合学会、日本エンドオブライフケア学会、日本認知症学会、日本認知症ケア学会、日本老年看護学会
日本ケアマネジメント学会、日本老年社会科学会、日本生命倫理学会、日本医学哲学・倫理学会